



No.54 (2015.10)

地域と結ぶ

順天堂大学練馬病院ニュース



夕日に染まる悪沢岳(静岡県)



地域の皆さまの
心と身体のおアシスで
ありたいと願っています。
何なりと
ご相談ください。

呼吸器外科のご紹介

呼吸器外科 科長 阪野 孝充

当科は近年増加の一途をたどる肺がんに対する手術を中心に、気胸、膿胸、胸部外傷などの疾患に対し幅広く診療を行っています。肺がんはすい臓がんについて未だ予後不良ながん腫であります。しかし近年



阪野 孝充

CT 技術の発達により無症状の小型肺がんの早期発見例が増加するにつれ、従来よりも少なく肺を摘出する積極的縮小手術で根治が得られる患者さんもかなり増えてきました。一方で喫煙を背景とし、症状で発見されるいわゆる「大きながん」の方も依然多く、肺以外の臓器を合併して切除する拡大切除の適応例もあります。

低侵襲の手術から拡大手術に至るまで、高齢の方、合併症をお持ちの方であっても呼吸器内科と連携しながら、患者さんの病状に合わせて最良の手術を実践するというモットーで、練馬地区の呼吸器診療の一助となれるよう、不断前進してまいります。



皮膚・アレルギー科のご紹介

皮膚・アレルギー科 科長 深井 達夫

平成27年4月より練馬病院皮膚・アレルギー科の科長として赴任いたしました。

皮膚・アレルギー科は、皮膚・爪・髪の毛などの病気を扱っています。これらに起きる変化は、皮膚特有の病気だったり、他の病気のサインであったり、治療によって起きた変化などであったりします。症状を詳しく検査して病気を確認し、薬や特殊な装置、手術などで治療しています。場合により入院いただき、集中的に治療を行っています。重症な方や大がかりな手術が必要な方は順天堂医院（文京区本郷）などと連携し、症状が改善した方はお近くの皮膚科専門医の先生方と協力して治療を行っています。

皮膚・爪・髪の毛などの症状でお困りの方は、一度当科にご相談ください。



深井 達夫



C-cube(シーキューブ)プロジェクト 看護部

夏休み真っ盛りの8月8日(土)に、当院で7回目の病院体験イベントを行いました。この催しは「C-cube プロジェクト」と題する活動で、練馬区内(Community)の子供たち(Children)との交流(Communication)を深め、地域に根ざした病院になることを目指しています。



聴診器を使ってお友達の心音を聞いています。



赤ちゃんの沐浴と着替えをやってみました。



顕微鏡で血液の細胞を見えています。



病室探検で興味津々。



手術室に入って体験です!



栄養部で食事の準備を見学しました。

当日は、練馬区内の小学生 37 名が参加しました。実際に聴診器を用いて自分やお友達の心音を聞いたり、検査室で顕微鏡をのぞいたり、様々な医療体験に挑戦しました。

6～7人のグループ行動でしたが、栄養士や検査技師にも積極的に質問して、「面白い」など感想を言い合いながら、楽しく取り組んでいました。

今回の体験をした子供たちの中から「大きくなったら病院で働いてみたい」と思ってくれる子供たちが一人でも多く誕生してくれればと思います。これからも「C-cube プロジェクト」活動へのご理解ご支援よろしくお願いたします。

(看護部 根岸)

C型肝炎が経口薬で治る時代に

－ 肝がん撲滅を目指して－

消化器内科 科長 宮崎 招久

わが国ではC型肝炎の人は150万～200万人と推定されています。C型慢性肝炎は進行するにつれて肝がんの発生率が高くなり、C型肝炎硬変では年率7～8%の確率で肝がんが発生します。そして、肝がんの原因の約70%はC型肝炎が原因です。



教授 宮崎 招久

肝がんを撲滅するためには、C型肝炎ウイルスを駆除する必要があります。C型肝炎治療は以前インターフェロンが主体でしたが、最近是新薬が次々に登場し、C型肝炎は経口薬で治る時代になりました。3ヶ月～6ヶ月間薬を服用することにより、85～100%の確率でC型肝炎を治すことができます。経口薬は大変高額ですが、都や県では医療費助成制度があります。東京都では肝臓専門医による申請書類が必要になります。順天堂大学練馬病院では、9名の肝臓専門医が外来を行っており、肝疾患肝炎外来も開設しております。ぜひご活用ください。



紹介状をお持ちの方は、予約センターで外来の予約をとることができます。

電話番号：03-5923-3240

電話受付時間：月曜～金曜（平日のみ）

午後1時～4時まで

平成27年度 大規模地震時 医療活動訓練

9月1日防災の日に、内閣府が計画する平成27年度大規模地震時医療活動訓練が実施され、当院も災害拠点病院として参加いたしました。

当日は、首都直下型地震が発生したという想定のもと、災害本部の立ち上げから、病棟や手術室などでの対応訓練、トリアージ訓練などを実施いたしました。

当院では大地震に耐えられるよう免震構造を採用しており、非常用の自家発電設備も備えております。また、災害時に活動できる災害時派遣医療チーム（DMAT）により災害地への医療協力も行える体制です。

今後も災害拠点病院として、病院を挙げて災害への備えをまいります。
(総務課 戸崎)



訓練ミーティング



院内情報収集



支援 DMAT との引き継ぎ



総合評価

医療サービス支援センター

医療福祉相談室

病気になると健康なときには思ってもいなかったような様々な問題が起こります。そんなときに患者さんが安心して治療に専念できるようにお手伝いする部門が「医療福祉相談室」です。当院の医療福祉相談室では、専門の相談員である「医療ソーシャルワーカー（MSW）」が2名で相談をお受けしています。必要に応じて院内外の関係諸機関、職員と連携を取りながら、皆様と一緒に問題を解決できるようにお手伝いしています。

相談内容は様々な制度の利用や経済的な問題について、また転院の相談など多岐に渡りますので、お困りのことがあればまずご連絡ください。相談は個室スペースで行われ、内容は守秘されますのでご安心ください。

（医療福祉相談室 柴田）



左から 柴田 鈴木

*予約の方を優先とさせていただきます。



ご案内



当院は、



東京都地域医療支援病院、救急指定病院、
災害拠点病院、大学附属病院として、

- ①重症の方 ②リスクの高い方 ③緊急の方
 - ④難病の方 ⑤不安定で変化の激しい方
- などの診療を優先しています。

落ち着いて安定している患者さんは、ご自宅や勤め先のお近くの
「かかりつけ医」でご診療いただけますよう、お願いいたします。



皆さまへお願い

・31日以上長期処方 of 安定した患者さんは、
出来るだけかかりつけ医での処方をお願い
いたします。



・「くすりはリスク」。7剤以上の多剤処方は出来る
だけ少なくいたします。

皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

なお、ご旅行や年末年始などで31日以上の処方が必要な場合には、
遠慮なく主治医までお申し出ください。



Airway
Breathin
Circulat

順天堂大学医学部附属練馬病院 院長

